

4 有害化学物質対策

科学技術の進展に伴い、化学物質はさまざまな分野に用いられていますが、なかには、発がん性や毒性、蓄積性等、人の健康や生態系に有害な影響を及ぼす物質も存在します。

これらの有害化学物質については、生産・使用・廃棄の各過程において環境影響を生じるおそれがあるにもかかわらず、有害性はもとより物性や環境中での挙動等に関する情報が必ずしも十分とは言えない状況です。

このため、環境濃度の把握に努めるとともに、有害化学物質に関する知見の集積およびその結果に基づく排出抑制対策を推進します。

ア 排出抑制対策

- 環境への排出を抑制するため、適正使用・適正管理・適正処理等に関する化学物質対策マニュアルの作成と情報の提供を行います。
- 生産・使用・廃棄の各過程での有害化学物質の環境への排出実態の把握に努めるとともに、新たな排出規制を含め、人の健康や生態系の保全に必要な排出抑制対策を検討し、有害化学物質による環境汚染の発生を防止します。

イ 調査・研究の充実

- 発生源周辺および一般環境における有害化学物質のモニタリング等、環境濃度の監視に努めます。
- 有害化学物質に関するリスク、物性などの情報収集を行うとともに、代替技術等の開発に努めます。